

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【公表番号】特表2011-509861(P2011-509861A)

【公表日】平成23年3月31日 (2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2011-013

【出願番号】特願2010-542299(P2010-542299)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/264 (2006.01)

B 0 1 J 7/00 (2006.01)

F 4 2 B 3/12 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/264

B 0 1 J 7/00 A

F 4 2 B 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月14日 (2011.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イニシエータの一部として用いるように設計されている火薬カップであって、
円筒部と、
頂部を有し、前記円筒部の第 1 の端部に取り付けられるドームと、
前記ドームの頂部に位置決めされる十字形部と、
を備える火薬カップ。

【請求項 2】

前記十字形部が 1 つ以上のペタルを画定する、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 3】

前記ドームの上端部品が略平坦である、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 4】

前記円筒部の第 2 の端部に位置決めされる突出溶着フランジを更に備える、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 5】

前記突出溶着フランジの直径が前記円筒部の直径よりも大きい、請求項 4 に記載の火薬カップ。

【請求項 6】

スクイブと所定量の可燃材料とを収容する、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 7】

前記イニシエータの展開中に広がる波状屈曲部を更に備える、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 8】

前記波状屈曲部は、前記ドームと前記円筒部の第 2 の端部に位置決めされる突出溶着フランジとの中間にある、請求項 7 に記載の火薬カップ。

【請求項 9】

前記イニシエータの展開時に、ガスが前記ドームの頂部を通して前記火薬カップの外側へ向かわせられる、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 10】

前記十字形部が前記ドームの脆弱領域を備える、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 11】

前記十字形部が前記ドームの外面上に位置決めされる、請求項 1 に記載の火薬カップ。

【請求項 12】

エアバッグインフレータと共に用いるためのイニシエータであって、スクイブと、

前記スクイブにより展開中に点火される所定量の可燃材料と、

前記スクイブと前記可燃材料とを収容する火薬カップであって、前記円筒部と、円筒部の第 1 の端部に取り付けられるドームと、前記ドームの頂部に位置決めされる十字形部と、前記円筒部の第 2 の端部に位置決めされる突出溶着フランジとを備え、前記突出溶着フランジが前記火薬カップを前記スクイブに取り付ける、火薬カップと、
を備えるイニシエータ。

【請求項 13】

前記可燃材料の点火の結果として広がる波状屈曲部を更に備え、前記波状屈曲部が前記円筒部に位置決めされる、請求項 12 に記載の イニシエータ。

【請求項 14】

前記突出溶着フランジの直径が前記円筒部の直径よりも大きい、請求項 12 に記載の イニシエータ。

【請求項 15】

前記十字形部が前記ドームの脆弱領域を備える、請求項 12 に記載の イニシエータ。

【請求項 16】

前記十字形部が前記ドームの外面上に位置決めされる、請求項 12 に記載の イニシエータ。

【請求項 17】

インフレータ内での火薬カップの破砕を防止するための方法であって、円筒部と、

前記円筒部の第 1 の端部に取り付けられ、頂部を有するドームと、

前記ドームの頂部に位置決めされる十字形部と、

を備える前記火薬カップを得ることと、

前記カップをスクイブ及び可燃材料の周囲に位置決めすることと、

を含み、

前記ドームが前記カップの破砕を防止する、方法。

【請求項 18】

前記波状屈曲部は、内側又は外側に折り曲げられた重なり合い部分を備える、請求項 7 に記載の火薬カップ。

【請求項 19】

前記波状屈曲部が展開中にベースから外側に伸びる、請求項 7 に記載の火薬カップ。

【請求項 20】

イニシエータの一部として用いるように設計されている火薬カップであって、円筒部と、

頂部を有し、前記円筒部の第 1 の端部に取り付けられるドームと、

十字形部と、

前記イニシエータの展開中に広がる波状屈曲部であって、前記ドームと前記円筒部の第 2 の端部に位置決めされる突出溶着フランジとの中間にある波状屈曲部と、

を備える火薬カップ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

テーパ部 3 0 は、一般に、湾曲されており、上端部品 2 6 から円筒部 1 4 への滑らかな移行部を形成する。幾つかの実施形態では、テーパ部 3 0 の湾曲形状が放物線である。他の実施形態では、テーパ部 3 0 の湾曲形状が球状又は放射状であってもよい。テーパ部 3 0 に関して他の形状及び / 又は構成が使用されてもよい。